

## 持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワーク（案）

- P-1. それぞれの地域の条件に適合的で、貧困を直接解消する
- P-2. 雇用を適正に創出する
  
- E-1. 限りあるものは、限りあるものとして扱う
  - E-1.a 再生不可能な資源を極力用いない。特に化石燃料資源の使用から脱する
  - E-1.b 環境を汚染する廃棄物・排ガス・排水を適正な処理なく放出しない。  
温室効果ガスは排出しない
- E-2. 持続可能な形で供給できる資源の側から社会を構想する
- E-3. 生態系の循環やバランスをさまたげない
- E-4. 小規模分散型システムの重視
- E-5. 近代科学技術の限界の認識と自然の尊重
  
- D-1. 非商品的生産・労働の正当な評価と拡大～自分でやる
- D-2. 人々に制御可能な技術を
- D-3. 人間的能力を引き出し、伸ばしていく技術を



## INTERNATIONAL CONFERENCE

### 国際会議

# SDGs × 適正技術 × アジア

持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワーク



特定非営利活動法人 APEX

〒110-0003 東京都台東区根岸1-5-12 井上ビル

TEL: 03-3875-9286 FAX: 03-3875-9306

E-mail: [tokyo-office@apex-ngo.org](mailto:tokyo-office@apex-ngo.org) URL: <http://www.apex-ngo.org>

## 2019.12.7

13:30—17:00 OPEN 13:00

### Speakers

田中直 特定非営利活動法人 APEX  
アントン・スジャルウォ ディアン・デサ財団  
エストレーラ・カタラータ SIBAT

[主催] 特定非営利活動法人 APEX

[共催] 東洋大学国際共生社会研究センター、適正技術フォーラム

[参加費] 一般: 3,000 円 (両日通し券)、APEX・ATFJ 会員/学生: 1,500 円 (両日通し券)  
(一日のみの参加は、一般: 2,000 円、APEX・ATFJ 会員/学生: 1,000 円)  
懇親会 3,000 円 (第二日終了後。東洋大学白山キャンパス 8 号館内 1 階トレスダイニング)

[会場] 東洋大学白山キャンパス 125 記念ホール (8 号館 7 階)  
〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20

[詳細・お申込] <http://apex-ngo.org/internationalconference2019.html>

[お問い合わせ]

特定非営利活動法人 APEX  
110-0003 東京都台東区根岸 1-5-12 井上ビル  
TEL. 03-3875-9286 FAX. 03-3875-9306

## 2019.12.8

10:00—17:15 OPEN 9:30

### Speakers

北脇 秀敏 東洋大学  
トゥリ・ムンプニ IBEKA  
レベッカ・マライ PRRM



このイベントは独立行政法人環境再生保全機構地球環境基金の助成を受けて開催します。

## ■趣旨

今日、SDGsは、多方面の人々・組織から支持される目標となっていますが、それでは、それを達成するためには、どのような社会のあり方、経済のあり方、あるいは技術のあり方が求められるのかは、あまり明らかではありません。

問題を技術の面から考えると、これまでの、効率・規模・速度の拡大・増大と経済成長・利潤を至上の価値とする近代科学技術体系の単純な延長上には、持続可能な未来を描くことはむずかしいのではないのでしょうか。それに代わる技術体系が作りだされていかなければなりません、その手がかりとなるものを探していくと、60年代中盤～80年代中盤に隆盛した適正技術に行きあたります。適正技術は、持続可能な開発のための技術としての要素をふんだんに含んでいます、80年代中盤以降は勢いを失います。そこには、適正技術の概念があいまいで、多くの方々が納得・賛同し、コミットしていけるようなフレームワークが欠けていたことが本質的な問題としてあったと考えられ、それを補って、適正技術を今日的な意義をもったものとしてよみがえらせていくことは、今後の持続可能な社会形成のための技術体系にいたる近道ではないかと思われま。

この国際会議では、アジアで適正技術関連の活動に取り組んでいる団体のリーダーをお招きして、お互いの経験を共有し、意見交換する中で、適正な技術選択に関する包括的フレームワークを創出することをめざします。

## ■講師プロフィール



田中 直 (たなか・なお)

特定非営利活動法人APEX代表理事。適正技術フォーラム共同代表。1976年、東京大学工学部卒業後、石油会社で石油精製プロセス管理、廃プラスチック再生、バイオテクノロジー、排水処理などの業務に従事する一方、1987年の設立当初からAPEX代表を務め、1999年より専従(代表)となる。理学博士。著書に『適正技術と代替社会ーインドネシアでの実践から』(岩波新書)、編著書に『転換期の技術者たち』、『第三世界の問題を考える』(創草書房)、『エネルギー問題ー工業化社会の自然と労働』(社会評論社)など。



アントン・スジャルウォ (Anton Sudjarwo)

ディアン・デサ財団 (Yayasan Dian Desa, Light of the Village Foundation)代表。ガジヤマダ大学土木工学科卒業。大学在学中からジョクジャカルタのムラピ山麓の村の住民に対する水供給事業を始め、1972年にディアン・デサ財団を設立し、以後、現在まで同団体ディレクター。水供給と衛生、農業による収入向上、高効率調理用ストーブ開発、バイオマスエネルギー、小産業育成等の事業を実施。1983年には、アジアのノーベル賞とも呼ばれるマグサイサイ賞を受賞。1995年からは、日本のNGOであるAPEXと協力し、排水処理やバイオマスエネルギー事業を共同で実施。



エストレーラ・カタラータ (Estrella F. Catarata)

SIBAT (Sibol ng Agham at Teknolohiya, 科学技術の源泉)代表。1996年から2013年まで、農民支援のNGOであるFARDEC (Central Visayas Farmers Development Center)代表を務めるとともに、ラジオ放送作家、アナウンサーとしても活躍し、数々の賞を受賞。2014～2016年は、PNFSP (Philippine Network of Food Security Programs)ディレクターとして、食糧や持続可能な農業のネットワーク形成に従事。2016年から2年間は、フィリピン政府の反貧困委員会のチーフスタッフ。2019年より現職。SIBATは、フィリピンにおけるコミュニティベースの再生可能エネルギーシステムのパイオニアであり、合わせて革新的で持続可能な農業の実践と普及に取り組んでいる。



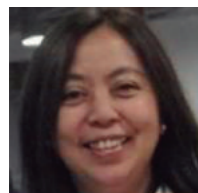
北脇 秀敏 (きたわき・ひでとし)

東洋大学教授・副学長。適正技術フォーラム共同代表。1984年、東京大学大学院工学系研究科博士課程修了。その後、コンサルタント会社で廃棄物処理、下水道設計等に従事し、世界保健機関(WHO)本部、東京大学客員教授などを経て1997年より東洋大学国際地域学部教授。開発途上国の環境衛生と適正技術が専門。工学博士。著書に『国際開発と内発的發展ーフィールドからみたアジアの発展のためにー』(朝倉書店)、『土の環境圏』(フジ・テクノシステム)など。



トゥリ・ムンプニ (Tri Mumpuni)

IBEKA(Inisiatif Bisnis dan Ekonomi Kerakyatan, People-centered Business and Economy Initiative)代表。インドネシア農村部の生活向上をめざして、小規模水力発電や、太陽光発電によるポンピングシステムの普及に尽力。IBEKAでは、これまでに82式の水力発電設備を設置している。グローバル平和賞、Ashden賞、マグサイサイ賞等を受賞。WWFのClimate Hero (2005年)や、TEMPO紙のWoman of The Year (2006年)に選出される。2015年以降、インドネシア政府の再生可能エネルギーや農村開発に関するシニアアドバイザーをも務めている。



レベッカ・マライ (Rebecca Malay)

PRRM(Philippine Rural Reconstruction Movement, フィリピン農村復興運動)アドボカシー・開発協力ディレクター。約30年にわたり、持続可能な開発、人権、債務、援助、経済的公正、貧困、格差、気候変動、透明性、アカウントビリティ、住民参加、選挙等に関するアドボカシー、キャンペーン、人材育成に従事。グローバル財団のGlobal Call to Action Against Poverty (GCAP)委員会議長、国連のNGOメジャーグループ・アジアオーガナイズングパートナー等を兼務。

## ■プログラム

# 2019年12月7日 [土] 13:30—17:00 (13:00受付開始)

13:30-13:45 オープニング、主催者・共催者あいさつ

13:45-14:45 基礎講演  
「持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワークーその意義と素案ー」  
田中直 (特定非営利活動法人APEX代表理事)

14:45-15:45 「適正技術の重要な意義ーインドネシアにおける水供給の事例よりー  
ディアン・デサ財団 50年の経験から」  
アントン・スジャルウォ (ディアン・デサ財団ディレクター)

15:45-16:00 休憩

16:00-17:00 「フィリピンにおけるSDGsに向けた適正技術のフレームワークとしての、  
気候変動に耐性のある持続可能な農業と、コミュニティベースの再生可能  
エネルギーシステム」  
エストレーラ・カタラータ (SIBAT代表)

# 2019年12月8日 [日] 10:00—17:15 (9:30受付開始)

10:00-11:00 「東洋大学国際共生社会センターのSDGsへの貢献」  
北脇秀敏 (東洋大学教授・副学長)

11:00-12:00 「インドネシアにおける小規模水力・風力発電による自立的経済の促進」  
トゥリ・ムンプニ (IBEKA代表)

12:00-13:00 休憩

13:00-14:00 「フィリピンにおける農村コミュニティの総合的能力向上による持続可能な発展」  
レベッカ・マライ (PRRMアドボカシー・開発協力ディレクター)

14:15-15:45 グループディスカッション

15:50-17:15 パネルディスカッション  
「持続可能な開発のための適正な技術選択に関する包括的フレームワーク」  
座長：古沢広裕 (國學院大学教授)

(終了後、懇親会)

## ■会場案内



東洋大学白山キャンパス  
125 記念ホール (8号館内)

〒112-8606 東京都文京区白山 5-28-20  
TEL. 03-3945-7224

(アクセス)

都営地下鉄三田線「白山」駅 A3 出口より徒歩 5 分  
東京メトロ南北線「本駒込」駅 1 番出口より徒歩 5 分  
東京メトロ千代田線「千駄木」駅 1 番出口より徒歩 15 分  
JR 山手線「巣鴨」駅都営バス 10 分  
(「浅草寿町」行「東洋大学前」下車)